

大空 (生徒・保護者向け) 4号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年4月20日(月)

自走できる人間

□本日の概要

- 社会を支えている人々への感謝と、困っている人への共感の気持ち(empathy)を持って欲しい。
- 休校の意義を考え、自分の役割・責任を果たしてほしい。
- 前向きなマインドセットで励ましあおう。
- 何事にも自主的に取り組める、「自走できる人間」になってほしい。

□支えている人への感謝、困っている人への共感(empathy)

16日(木)に国の緊急事態宣言が出されました。宮崎県は、4月21日から5月6日までの県立高校の休校を決定しました。宮崎県は現在、感染拡大地域ではありませんが、感染者を受け入れる病床は多くはなく油断できない状況です。また、全国の様子は、特に都市部の状況は、医療崩壊の寸前と言っても過言ではありません。

新型コロナウイルスと戦っている様々な人の姿を想像してみてください。物資や人員が不足し、自らも感染する危険の中、治療に当たっている医療従事者がいます。効果のある薬の開発に尽力している人がいます。企業や行政、農林水産業など、様々な立場で社会を支えている人がいます。また、様々な人たちが、新型コロナウイルスの影響で困っています。あらゆる産業が影響を受けています。緊急事態宣言は、自由を制限する極端な状態で、長引けば、産業界への影響はもっと大きくなります。社会全体、世界全体を元の形に戻すためにも、一日も早く終息させ

なければなりません。今、様々な形でがんばっている方々への感謝と、困っている人の心に共感できる力(empathy)を持って欲しいと思います。

□自分の責任・役割を果たす

終息のためは、それぞれがそれぞれの責任を全力で果たすことです。まずは皆が外出を控え、人と会うことを避けてください。皆さんは今回の休校が、通常の休みではないことが理解できると思います。私たちの未来を守るため、一刻も早くこの新型コロナウイルスの感染を終息させましょう。

始業式で話しましたが、皆さんが自ら為すべきことに取り組むことが、実は他者を支えることになり、未来を支えることになります。勉強について言えば、始業式からの1週間、先生たちは「勉強のやり方」を教えてきたと思います。また、勉強は、何も問題集を解くことだけではありません。人類は長い歴史の中で、様々な感染症と闘ってきました。その中には、感染症が歴史を変えたといえるぐらいの出来事もあります。おそらく、この新型コロナウイルスは、人類の歴史の中でも大きな出来事になるかもしれません。新聞記事などを集めスクラップしたり、自分が考えていることを文章にまとめたりしていくことは、とても重要なことだと思います。

□励ましあおう

これも始業式で話しましたが、自分のマインドセット(自分の思考様式)を意識的に前向きにしましょう。否定的な言葉は使わないでください。自分の言動を

客観的に見てください。例えば登山など、励ましあうと高い山でも何とか登れます。高校の入学式で「高い目標を持つ」ことの重要性を話しましたが、実際に、目線を上にしていると、気持ちが高まります。(校歌1番の「眉上げて見よ」とはこういう意味です。)うつむくと、元気な人も気持ちが塞ぎます。形から心をコントロールする方法もあるのです。余談ですが、私が西校の先生として担任をしていたとき、休みの日や自宅学習の際、わざわざ制服に着替えて勉強する女子生徒がいました。彼女は、最初は気合いが入るけれど結局制服のまま寝てしまい、制服がしわになるのでお勧めできませんと笑って話してくれました。失敗に終わったアイデアですが、彼女が誰かに言われてやったのではなく、自分で自分を励ますために自分で思いついたアイデアです。悲壮感がないのがいいですね。真剣さは大事ですが、笑顔の余裕は大切です。家庭でも笑顔で過ごしてくださいね。

□自走できる人間になる

今、特に大切なキーワードの一つが、「自主性」と私は思っています。

勉強だけでなく、自分を成長させる行為はすべてそうですが、誰かに命じられてやるものではなく、自分の意思で取り組むものです。学習も、受動的に教えてもらうのを待つのではなく、能動的に自分で学ぶと楽しくなります。(大学の研究は、だから楽しいのです。)皆さんは、教科書や参考書で予習して、どんどん進んでいいのです。自分で問題を解いたり、調べたり考えたりして、分からないところは学校が再開したときに質問してください。理解が一段と深まります。

また、本校は全員が「きみろん」(きみにしか書けない論文)という論文に取り組むこととなります。テーマ探しはこれからですが、自分で図書館や新聞、インターネット等で情報を調べ、本を読んだりすることは自分でできます。何に自分が関心があるか、

自分で探してみてください。

「未知の我を求める」ためには、本来なら、自主的に、実物に触れる、本物に触れる、他者と触れあうという実体験も大切なのですが、現在の状況では、インターネット等を利用したり、ICT機器を利用したりしていくこともやむを得ません。それでもかなりのことができるはずですよ。

皆さんは、どうやって自転車の乗り方を覚えましたか？初めはお父さんやお母さんに自転車の後ろを支え、押しもらったのではないのでしょうか。後ろで支えているお父さんお母さんは、後ろで支え、一緒に走り、「大丈夫、しっかり持ちよるよ！」などと言って子供に安心感を与えながら、実はこっそり少しずつ手を離していましたね。そして、皆さんは、親が支えてくれていると信じながら、実は自分の力でペダルを漕いでいたのです。

今、皆さんは意識して、自分の力でペダルをこぐ時です。学校は皆さんの自走を助けるよう、皆さんの後ろで一緒に走ります。しかし、いつまでも自転車の後ろは押しません。休校期間を有意義に、充実した時を過ごしてください。

補足 おすすめの本

- 「感染症が世界史を動かす」(ちくま新書)岡田春恵
- 「生物と無生物のあいだ」(講談社現代新書)福岡伸一